

がん化学予防薬の開発

教授・武藤倫弘からのメッセージ

がん予防薬、1剤目を世に出します！



キーワード

ハイリスクストラテジー、炎症、転写活性、動物実験、臨床介入試験

研究の概要

この研究では、がんの高危険群に対して、日本初の薬による積極的がん予防方法を提案します。

研究内容

ドラッグリポジショニングの観点からスクリーニングシステムを確立し、次期がん予防臨床介入試験に適した薬剤の選定を行っています。

また、大腸がん超危険度群の病態に適した実験モデル系の確立を行い、そのモデルを用いた薬剤開発を進めています。

さらに、疫学研究・臨床研究を行うとともに、そこで得られたデータを細胞や動物モデルに戻し、より詳細なリスク因子・予防因子の解明及び発がんメカニズム検索を行っています。

今後の展望

アスピリンを大腸がん予防薬とすることを目指します。

基礎的研究からの連続性のある研究展開

